

E1372

持270
201

球溪歌集

四季

犬童信藏著

東京

音樂教育書出版協會

E13720455 梅澤 敬一 2023/10/25 00:54:52

美を多く題材と致した爲で、我國中古の歌集の體をとつただけの事であります。

此書の出版は、一は徴か乍ら私の是迄の足跡を一目に見たい爲と、一は近く迎へる還暦の記念として企てましたもので、賣品とする事はもともと私の眞意ではありませんでしたが、浪々の身、出版の費を得る事難く、不本意乍ら此舉に出た譯であります。

幸に音楽教授上の一助ともなれば、本懐の至りてあります。

尙、老生、浅學不才、幾多不備の點もあらうと思ひます。何うぞ細大となく御高教を仰ぎます。

昭和十一年十月

球 溪 生

目 次

卷頭題	美はしの四季	2
1	新 年	6
2	春 を 待 つ	8
3	谷 間 の 梅	12
4	歸 雁	16
5	春 を 樂 し め	22
6	哀 れ の す み れ	28
7	惜 春	30
8	夏 の あ し た	32
9	夏 の 夜	36
10	夏 の 山	40
11	林 間 清 遊	42
12	涼 し き 森	44
13	夏 は 行 く	46
14	旅 愁	48
15	故 郷 の 廢 家	52
16	空 し く 暮 れ ぬ	56
17	秋 の 夜	58
18	秋 夜 懷 友	60
19	月 夜	64
20	雪 の あ し た	70
21	淋 し 我 庵	74
22	歳 暮	78
23	除 夜	79
24	故 郷 の 父 母	82
25	幼 兒	84
26	さ ら ば 故 郷	86
27	亡 兒 の 寫 眞	90
28	同 窓 會	94
29	友 を 送 る	96
30	祖 國	98

美はしの四季 (The beautiful World)

A. A. Graley.

Moderato.

There's beauty in the Sunshine, There's beauty in the showers;
 1. ヤ マ ベ モ ノ ベ モ カ ス ミ ツ タ ヲ -
 2. ヲ カ リ ノ イ ロ ノ ス ミ レ ツ ミ テ -

There's beauty in the wild wood, There's beauty in the flowers:
 ハ ル カ ゼ カ ロ タ ツ ク シ を り て -
 を ぐ さ に ま じ る つ く し を り て -

The valley and the mountain, the Ocean and the Plain,
 ア フ ヴ ヲ タ ハ ヒ コ ヲ ヲ ク タ ヒ -
 さ と の を が は の き し に た て ば -

In beauty robed, entrance the heart, And every Sense en-chain.
 エ メ ル ハ ナ ニ ハ コ テ フ ヲ ド ル -
 た る る あ を や - き わ れ を ま ね く -

Chorus.

beau-ti-ful world, beau-ti-ful world, beau-ti-ful, beau-ti-ful world;
 ウ ル ハ シ ウ ル ハ シ ハ ル ノ ナ - ガ メ -
 う る は し う る は し は る の な - が め -

beau-ti-ful world, beau-ti-ful world, beau-ti-ful, beau-ti-ful world.
 ウ ル ハ シ ウ ル ハ シ ハ ル ノ ナ - ガ メ -
 う る は し う る は し は る の な - が め -

THE BEAUTIFUL WORLD

A. A. Graley

1. There's beauty in the Sunshine, There's beauty in the Showers; There's beauty in the wildwood, There's beauty in the flowers: The valley and the mountain, the Ocean and the Plain, In beauty robed, entrance the heart, And every Sense enchain. Beautiful world, beautiful world, beautiful, beautiful world; Beautiful world, beautiful world, beautiful, beautiful world.

卷頭題

美はしの四季 (明治三九)

春

一、山邊も野邊もかすみ渡り、春風軽く袖にかをる、
仰ぐ空には雲雀うたひ、笑める花には胡蝶踊る。

二、ゆかりの色の董摘みて、小草に交る土筆折りて、

里の小川の岸に立てば、垂る青柳我を招く。

美はし美はし春のながめ。

夏

一、青葉を渡る風のひびき、門邊を廻る水の調べ、
自然なる樂をかたて、神の秘事我にかたる。

美はし美はし夏のながめ。

二、過ぎたる夕立は名残とめず、後より晴るる山の彼方、
天の御神か降らせ給ふ、妙に彩る橋をわたす。

美はし美はし夏のながめ。

秋

一、さらく注ぐ夜半の時雨、立田の姫や筆に受けし、
けさは妙なるあやや錦峯に麓に染めて酒す。

美はし美はし秋のながめ。

二、草葉の末にやどる露を、眞玉と見する月の光り、
人の心にかゝる雲も、晴れよとばかり汝は照るか。

美はし美はし秋のながめ。

冬

一、一夜の程に山も丘も、時じく花に埋れはてて、
見ゆる限りは一つ色の神の御技の樂土なれや。

美はし美はし冬のながめ。

二、夕を告ぐる鐘の音も、埒に急ぐ鳥のこゑも、
あたり静に今は暮れて、さそふ風木々にむせぶ。

美はし美はし冬のながめ。

昭和十一年十一月五日印刷
昭和十一年十一月十日發行

著作者

歌集四季奧付

定價 金壹圓貳拾錢

犬 宣 信 藏

東京市神田區錦町三丁目十一番地
音樂教育書出版協會

發行者

增 田 啓 策
大 本 正 久 一

印刷者

東京市京橋區榮地一丁目三番地
熊 谷 敬 一

不許
複製

發行所
發賣所

東京市神田區錦町三丁目十一番地

音樂教育書出版協會

電話 神田(25)〇八三三番
振替東京六四七七〇番

行印所刷印谷熊